

政策分析シート

政策名		快適な生活環境の整備		政策No	14		部名	土木部		
							部長名	倉門 彰	内線	2700
関連部名		環境清掃部 福祉部 都市整備部								
行政評価事業体系		分野	防災・まちづくり・環境分野							
目的		社会経済の成熟化を背景に、区民の意識も量から質へ、あるいは物的満足から精神的、文化的満足へと変化している。こうした中、生活環境の分野においても、より快適で住みよい生活環境が求められており、その基盤となる道路、公園等の整備拡充は、これからの街づくりに欠かせない重要な事業である。 安全で快適な道路、公園等の整備拡充を図り、真に住んでいて良かったと感じられる街づくりを目指す。								
指標		政策の成果とする指標名		指標の推移				指標に関する説明		
				平成16年度	平成17年度	平成18年度	目標値 (28年度)			
		①	公園・児童遊園面積	27.4ha	27.5ha	41.6ha	54.0ha	目標値は1人当たり3.0㎡		
		②	交通事故件数(自転車事故)	910件 (466)	911件 (480)	—	820件 (430)	自転車が絡む事故は約半数		
		③	放置自転車台数	1,950台	2,144台	2,000台	1,000台			
		④	細街路後退用地整備率	32%	33%	35%	45%	整備延長／整備対象道路延長両側		
		⑤								
現状と課題		都市基盤である道路、公園等の整備水準は、いまだ十分とはいえない状況にあり、快適な生活環境の創造、地域産業活性化の面から課題となっている。 また、依然として、駅前を中心とした放置自転車や自転車事故に関わる交通事故件数の増加が大きな課題となっている。								
今後の方向性		都区で策定した「区部における都市計画道路の整備方針」「都市計画公園・緑地の整備方針」また、今後、区で策定する「荒川区みどりの基本計画」に基づき計画的に道路、公園等の整備を進めていく。 また、自転車に関わる問題は、区民をはじめ警察など関係機関と連携し、交通ルール・マナーの遵守を徹底する啓発活動を重点に進めていく。								

政策を構成する施策の優先度		
施策名	政策推進のための優先度	優先度についての説明・意見等
豊かな生活環境づくり	A	公園・児童遊園面積を目標値まで引き上げる
快適な住居の提供	B	区民の定住化を促進し居住水準を引き上げるため、区民の住宅への助成は継続すべきであるが、民との役割分担を今後しっかり検討する必要がある。
快適な道路環境の維持	A	区民生活に一日も欠かせない道路の適切な管理
安心・安全な道路環境の推進	B	悲惨な交通事故を無くし、安全な街の実現
放置自転車対策の推進	A	障害者等の安全な通行、緊急車両の通行の確保